

■ 地域とのつながり学習に保護者も共に（玉川中学校）

1 【活動の趣旨】

つながり学習は、中学3年の間、地域で学ぶことのできる環境を活用して、課題を見つけ、「自分にできること」を発見し、実行に移し、学びをより多くの人に伝える活動である。

2 【特徴的な活動内容】

○学校運営協議会で「つながり学習」は、「生徒だけでなく、保護者も共に学ぶことのできる機会を設けてはどうか」との助言をいただいた。PTAの代わりに発足した「チームたまぞう（玉中保護者と教職員の会）」が、自分の住む地域のことを知り、家族間で地域のことや将来のこと等を話したり、考えたり、実際に働きかけたりするきっかけになってほしいという思いから、地域と生徒のみの学びから、保護者へも学びを広げた。



【保護者参加の様子】

3 【実施に当たっての工夫】

- チームたまぞうの活動は、生徒の教育活動を充実させるため、その都度保護者と教職員が企画して募集、実施を行っており、つながり学習への参加・参観も呼びかけた。
- 毎年、期間中であればどの時間帯も参観可能としている「授業参観 week」につながり学習発表会を重ねた。



【つながり学習掲示物

保護者閲覧中】

4 【事業の成果】

つながり学習への参加・参観は、13名

授業参観 week 中に実施したつながり学習発表会への参加は、45名

“つながり学習”という言葉は知っていたが、内容まで知らなかったという保護者もおられる中、今年度は初めてつながり学習への参加・参観の呼びかけを行い、授業参観 week 中につながり学習発表会を実施した。その結果、少なくとも58名の方に、実際に見て、聞いて、学ばれ、つながり学習を知っていただけたと思う。

5 【事業の今後の展望】

つながり学習に参加された保護者の方は、生徒と同じように専門家の話を聞いたり、魚の解剖を見たりする等、学びを通して一緒に考えるきっかけになったと話された。また、生徒も保護者に学ぶ姿を認められ、次の意欲に結び付いたのではないかと考える。これが「保護者も共に」であり、さらに生徒の活動や学びの様子を広め、参加者が多くなることで、地域での学びを地域と生徒と保護者が共有し、家庭で一緒に考え、話をして、共に働きかける機会が広まることを願う。